

謝 辞

日本味噌株式会社

本社工場工場長 天野勝幹

このたび栄えある表彰を受けました皆様を代表いたしまして、誠に僣越ではございますが、御礼の挨拶をさせていただきます。

この度は、第六十四回全国味噌鑑評会において、農林水産大臣賞をはじめとして数多くの賞を頂き誠にありがとうございます。

私も味噌醸造業にたずさわる者として大変名誉なことであり、大きな励みになることでございます。

本日このように受賞でき

ましたのも、日頃よりご指導いただいております中央

折角の機会ですので、今回表彰を受けました江戸甘味噌について紹介させていただきます。江戸甘味噌は、元禄時代に江戸の街で発明された味噌で、光沢ある赤褐色の外見ですが、とろりとした甘味のある塩分五・五パーセントの甘味噌です。江戸甘ならではの製法で作っており、戦前は、東京都の消費量の六割を誇りましたが、現在では、東京の教社でのみ製造をしております。

この歴史と伝統のある江戸甘味噌を諸先輩より引継ぎ、伸ばして行くことが私の使命の一つだと思っております。今回の表彰は、それに大きく力を与えていただきました。今後とも指導と鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この度、栄えある賞を賜りましたことを農林水産省並びにご支援いただきましたすべての方々に改めて深く感謝を申し上げます。

簡単ではございますが、御礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

味噌研究所の先生方、並びに関係諸団体の皆様、各地方研究機関の先生方、各地技術会の皆様のご指導、ご鞭撻の賜物と深く感謝し、心より御礼申し上げます。

全国味噌鑑評会も、昨年に続いての開催となりました。

全国味噌鑑評会を支える事務局の方々、及び関係される皆様のお心遣いにより、今日に至るまでできたことを改めて心より感謝申し上げます。

令和五年十一月十六日

